

AnyMind Group、D2Cにおける物流領域の課題を解決へ
D2C事業者向け物流管理プラットフォーム「AnyLogi」をローンチ
“つくる”、“売る”、“広める”から“届ける”まで、ブランドビジネスの全てを一気通貫で支援

2021年6月8日
AnyMind Group株式会社
代表取締役CEO: 十河 宏輔

AnyMind Group株式会社(読み: エニーマインドグループ、代表取締役CEO: 十河 宏輔、以下「当社」)は、D2Cビジネスを展開するインフルエンサーなどの個人や企業向けに、物流管理プラットフォーム「AnyLogi」(<https://anylogi.com/>)をローンチし、本日6月8日よりサービス提供を開始いたします。日本国内及び海外のEコマース(EC)展開・物流における受注・在庫・出荷を軸とした支援の拡充により、D2Cブランド市場における物流課題の解決を推進します。



AnyLogi公式サービスサイト: <https://anylogi.com/>

■EC・D2Cブランド市場における物流領域の課題と狙い

昨今、社会の急激な変化による在宅時間増加等に伴って、EC及びD2Cブランド市場は急成長を続けています。一方で、急激なEC普及による小口配送の増加、配送スピードへの要求レベルの高まりなどの要因もあり、ブランド・倉庫・物流会社など、すべてのステークホルダーにおいて、管理負担増加、人手不足などの課題が深刻化しています。

またブランドにおいても、世界観や商品そのものだけでなく、物流オペレーション・コミュニケーションの最適化や、オリジナルの梱包による体験価値の向上など、BtoB、BtoCの両面におけるサプライチェーン全体の最適化は常に解決すべき課題です。

こうした背景を受け、当社では様々なブランドを支援する立場として、ブランドビジネスにおいて重要な“物流領域”の課題を解決すべく、新たに物流管理プラットフォーム「AnyLogi」を開発、提供開始します。

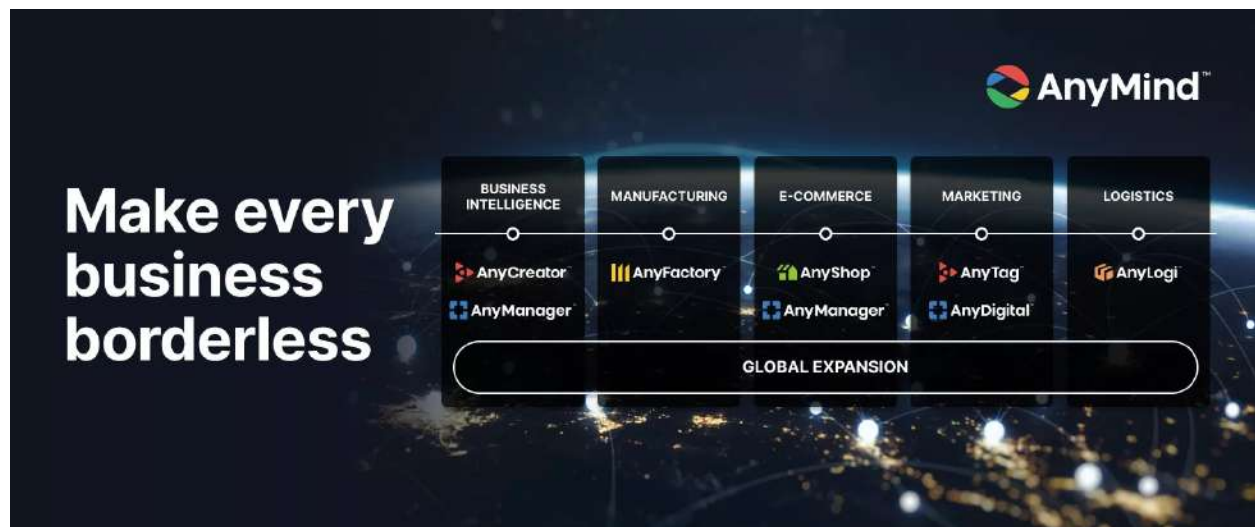
「AnyLogi」では、これまで既存サービスでは満たせていない多様な在庫管理・配送ニーズに対応し、さらに物流管理コスト低減とユーザー体験価値向上を実現します。また、日本国内だけでなく、アジアを中心とした物流パートナーとのサービス連携により、日本から海外、海外から日本への物流に関しても同様の価値提供を行ってまいります。

■他サービス接続や流通管理支援の網羅によりブランドビジネスの一貫支援を実現へ

今後、当社はグローバル統一でのソフトウェア開発力、そしてグローバルかつローカルの強固なネットワークを活かして、在庫管理、倉庫管理、問合せ対応についてもサービス連携・開発を進め、さらなる機能充実を図ってまいります。

さらに当社の展開する「AnyTag」をはじめとするマーケティングプラットフォームとの接続によるデータ分析・蓄積により、ブランドビジネスにおける全てのプロセスをより最適化してまいります。当社は「つくる」「売る」「広める」だけでなく、「届ける」機能を実装することで、あらゆる個人・法人がブランドビジネスを効率化し、一貫支援してまいります。

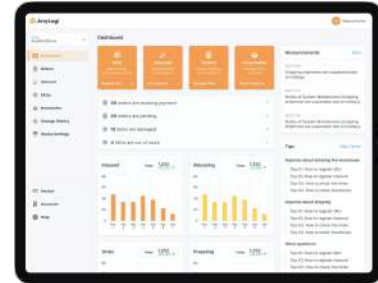
今後も国内外での提供価値を拡大していくことで、ミッションである”Make every business borderless”を実現してまいります。



The diagram illustrates the AnyMind ecosystem. On the left, the slogan "Make every business borderless" is displayed in large white text. On the right, the AnyMind logo is shown. Below these, a horizontal line with five circular nodes connects five vertical panels representing different business areas: BUSINESS INTELLIGENCE, MANUFACTURING, E-COMMERCE, MARKETING, and LOGISTICS. Each panel lists specific services: BUSINESS INTELLIGENCE includes AnyCreator and AnyManager; MANUFACTURING includes AnyFactory; E-COMMERCE includes AnyShop and AnyManager; MARKETING includes AnyTag and AnyDigital; LOGISTICS includes AnyLogi. At the bottom, a rounded rectangular box contains the text "GLOBAL EXPANSION". The background features a dark space with a glowing network of nodes and lines.

■「AnyLogi」とは

AnyLogiは国内外のECカートと物流パートナーをネットワーク化することで、商品管理・決済確認・入庫・保管・出庫・配送の一括管理可能にする物流管理プラットフォームです。受注・在庫・配送の3つのポイントを軸にした機能提供により、あらゆる個人・法人のEC展開を柔軟かつ多角的にサポートします。



■「AnyLogi」のソリューション

下記の3つの機能を軸に幅広い価値提供を実現いたします。

①リアルタイムでのステータス確認

管理画面から、リアルタイムで受注・入庫・保管・出庫などの情報を確認可能

②ブランドニーズに合わせた梱包資材のカスタマイズ

ブランド戦略に合わせた独自の梱包資材を使用した発送に加え、資材の生産も可能

③国内だけでなく海外向けの越境ECにも対応

海外販売の物流に応じて、国内だけでなく、海外の物流パートナーと連携した物流戦略を提案・実施



<AnyMind Group 共同創業者兼CEO 十河宏輔のコメント>



これまでブランドビジネスにおいて、物流面における課題は非常に大きなものでしたが、今回のAnyLogiの提供開始はその解決に向けた大きな一歩になると確信しています。今後は当社の持つプラットフォーム間のデータ連携や生産機能との連携により、在庫数の減少に合わせた商品の自動発注・生産の機能も実装していきたいと考えています。また、物流面においても、商品配送にとどまらないフォワーディング領域の支援も将来的には見据えています。当社の持つプラットフォーム開発の強みと海外ネットワークの活用、そして国内外の強力なパートナーシップ連携を進めていくことで、ブランドビジネスを展開する個人や企業に向けてさらなる提供価値の拡大を進めていきたいと考えております。

■物流パートナー(一部)

株式会社富士ロジテックホールディングス、フェデックス・エクスプレス、Boxme、Keepack、Otto、Boxful(※順不同)



【AnyMind Groupについて】



2016年にシンガポールで創業し、インフルエンサーなどの個人、メディア・ブランド運営企業向けに、商品企画・ものづくりからECサイトの構築・運用、マーケティングまで、あらゆるビジネスを支援するソフトウェアを開発・提供しています。現在、世界13市場に17拠点を展開し、20国籍750名以上の従業員が勤務しています。これまでに、LINE株式会社、未来創生ファンド、VGI、JAFCO Asia、日本郵政キャピタルなどから総額62.3百万米ドル(約68.6億円)の資金を調達しています。

URL: <https://anymindgroup.com/ja/>

【本件に関する報道・メディア関係者からのお問合せ先】

AnyMind Group株式会社

Communications(広報・PR): 風間(090-6516-9146)

メールアドレス: jp-pr@anymindgroup.com / moto@anyminggroup.com

電話番号: 03-6384-5542